

西小は おおきな 家族

Family

～校長のたわいもない独り言～

平成30年11月30日(金) No.41

発行人

ぐふふ、今日のジャンケンはある子には
全勝した・・大人げない川崎先生。

◇校長室の窓からふと眺めていると◇

校庭で6年生が体育をしている。三角ベースとでもいうのだろうか？ポールの上に置いたボールをバットで打って、あとは野球と同じく1塁、2塁を回ってホームにすれば得点が入る。男女仲良く盛り上がっている。とても楽しそうだ。6年生に限らず、西小は男女関係なく仲よし。本当に家族のよう(^)v

そう言えば、川崎の時代は“ワンバン取り”だった。ピッチャーが投げたボールをバットで打って、ワンバウンドで取ればバッターになれる。取られない限り、ずっと打ち続けることができる。それから“ハンドボール”。今で言うスポーツのハンドボールではなく、柔らかいボールを自分で持って、自分の手で打つからハンドボール。なんかなつかしいなあ・・・(遠い目)。

次代が変われば遊びも変わる。“きつねとり”“ちびめん”“丸めん”“風めん”“銀玉鉄砲”“かんしゃく玉”“なんてのもあったなあ・・・(さらに遠い目)。遊び道具を求めては、今はなき上市の“すすきや”“や、今もある”ますや“へ買いに行ったものだ。小学校の校庭ではエンジン付きの飛行機(Uコン)も流行った。ラジコンが出る前の、ワイヤーでつながった飛行機だ。人が持つ部分がU字型をしていたのでUコンと名前が付いた?のだと思うけど、人を中心にぐるぐる回りながら飛ばしたものだ。

次から次へといろんなことが思い出されるけど、子どもたちにとってはただの昔話だろうからこのくらいにしておこう。単なるおじさんの回想でした。

◇1年生音楽発表会 11/28(水)◇

1年生が全校の前で発表するなんて、それだけでとてもすごいことだと思う。でも西小って、何年生であっても、どのような発表であっても、みんな受け入れて、とても温かくそして優しく見守ってくれる。だから会の後の感想発表でも、全学年からさっとたくさんの手が挙がる。この光景はいつ見ても心温まる。本当に本当に“大きな家族”を実感する。

さて1年生。もうかわいいたらありゃしない。一生懸命に歌っている姿、音を合わせようとしている姿、ボイスボディアンサンブル・グーチョキパーなんてもう最高。笑顔しか出てこない。みんなを幸せにしてくれる1年生の発表。ありがたやありがたや(=^・^)=(^・^)=(^・^)

◇さてさて、それでは一週間ほど(12/3~12/9)失礼いたします<(_)>◇

多くの皆様にご心配をおかけしております。また高尾の夜祭りでは、会う人会う人皆様にお声掛けいただき、ご心配をいただき、大変恐縮しております。

さていよいよです。来週一週間姿を消します。その後もすぐに学校に出て来れるかは、顔の腫れ具合、痛みの程度だと思いますが、できる限り早い時期に復帰したいと思っています。まあ、夏休みを考えれば一週間程度はあつという間ですしね。

いろいろ調べてみると、日本では4本の親知らずを一度に抜くことは大騒ぎですが、ドイツでは当たり前ようです。さすが合理主義の国です。しかし、埋没した親不知を抜くときには歯を砕くためにハンマーを使うとか、首が無くなるくらい頬が腫れるとか、いやーな情報まで入ってきてしまうんですね、これが。一人でドキドキしてます(^_^)

さあ、でも今後は快方に向かうことは間違いないので、がんばって乗り切ります。では行ってきまーす(^_^)/~~~~